

修士学位論文要旨

(通信制) 保健科学研究科

学生番号 M971301

氏名 市田 博子

地域生活を送る慢性呼吸器疾患患者の作業参加が健康関連 QOL に与える影響

背景と目的

わが国で罹患する頻度が高い疾患に、慢性閉塞性肺疾患 (Chronic Obstructive Pulmonary Disease ; 以下 COPD) が挙げられる。治療を受けている COPD 患者は 22 万人、推定患者数は 530 万人以上とされている。未だ喫煙率が高く、喫煙開始年齢も若年化しているため、今後患者数は増加し、リハビリテーションを必要とする患者も増加傾向にあると言える。

慢性呼吸器疾患患者の生活の質 (Quality of Life ; 以下 QOL) について、先行研究では、作業参加が QOL に長期的に影響する可能性が示唆されていた。また、呼吸器作業療法において、QOL 向上を支援し、その人らしい生活の再構築の支援を行うことを目標としており、作業を通して健康と幸福な生活を促進することは重要である。しかしながら、呼吸器疾患患者の作業を評価するツールは無く、作業と QOL との関連について述べた研究もみられない。そこで、本研究では、地域生活を送る慢性呼吸器疾患患者の作業参加の特徴を把握し、作業参加が健康関連 QOL にどのような影響を与えているのかを明らかにすること、臨床場面における呼吸器疾患患者の作業参加を容易に捉えるための評価手段を提案することを目的とする。

対象と方法

対象は、呼吸器外来に通院している慢性呼吸器疾患患者とした。調査項目は、一般情報、SF-12 (MOS 12-item Short Form Health Survey), NIH 活動記録 (Activity Record ; 以下 ACTRE) の一部を改変した改変 ACTRE とした。分析は、記述統計, Mann-Whitney の U 検定, 相関分析, 因子分析, 階層的クラスター分析, 潜在ランク推定, 階層的重回帰分析を実施した。解析には、SPSS Ver18, Mplus Ver7.3, HAD12.0, Exametrika Ver5.3 を使用した。

なお、本研究は協力施設および吉備国際大学倫理審査委員会の承認を得ており、対象者には口頭と書面にて目的と手順を説明し、同意を得て実施した。

結果

分析対象は 73 名（平均年齢 72.6±8.7 歳，男性 66 名，女性 7 名）となった。SF-12 下位尺度は，国民標準値よりも低く，潜在ランクは 5 ランクに分類可能であった。改変 ACTRE は 2 因子が抽出され，疾患名が作業参加に影響していた。作業参加として，5 類型に分類され，価値や興味が低く，セルフケアや休憩時間が多く疲労が高い，また，日常生活活動 (Activities of Daily Living; 以下 ADL) や身体活動量が少ない作業が多い傾向であった。階層的重回帰分析では，作業参加の項目を投入した際の R^2 および調整済み R^2 が良好であった。健康関連 QOL 全体に影響するものとして，重症度に次いで価値が挙げられた。

考察

地域生活を送る慢性呼吸器疾患患者は，健康関連 QOL が低く，身体的疲労感が強いことから活動を制限し，そのため ADL 活動や身体活動量の少ない作業が主となり，個人にとって価値の高い作業への参加が少ない傾向であると考えられる。また，呼吸状態が重症化し，セルフケア時間が増加することにより身体的健康度は低下する。但し，個人にとって価値を感じる作業への参加は，健康関連 QOL 全体を向上させることが可能であると示唆された。改変 ACTRE は，「活動時の負担感」「活動への動機付け」の 2 因子モデルであり，作業参加タイプは 5 類型に分類された。また，作業についての詳細な情報収集が可能であり，これは作業療法リーディングへ活用することが期待でき，今後，臨床場面において検証することで，作業参加を容易かつ的確に捉えられる効率性の高い評価開発が可能と考える。

まとめ

本研究は，地域生活を送る慢性呼吸器疾患患者の作業参加の特徴を把握し，作業参加が健康関連 QOL に与える影響について明らかにする，作業参加の疾患特異的評価手段の提案をすることを目的に行った。結果，自ら活動制限し，ADL 活動が主であり，価値の高い作業参加が少ない傾向である。価値の高い作業参加を促すことが健康関連 QOL を長期的に高める重要な要素である。基本情報にて疾患や呼吸状態についての詳細を把握した上で，作業参加を 2 因子にて捉え，作業参加タイプを 5 グループに分類することは，臨床場面における呼吸器疾患患者の作業参加の捉え易さにつながり，今後さらに臨床場面において検証する必要がある。